



IRS

アゼルバイジャンを発見する際

写真: エティバル・ジャファロフ

文: ジヤレット・ジャバロフ

アゼルバイジャン - 寛容の国

アゼルバイジャン初のルーテル教会、聖ヨ
ハネ教会、1857年、ゴイゴル





ジョージア正教会の聖ジョージ教会での礼拝。アゼルバイジャン、ガフ

青いカスピ海の海岸から大コーカサスと小コーカサスの雪を頂いた山々に広がるアゼルバイジャンは、美しい自然だけでなく、何世紀にもわたる友好的な伝統と、さまざまな国籍や宗教の平和的共存の国でもあります。もちろん、これらの良い伝統の形成と保存において、主な役割はアゼルバイジャン人やこの地域の他の人々の高い道徳的資質と人道的価値観に属します。この要因により、アゼルバイジャンは他の国々の模範として多くの人に認識されており、歴史的に確立された国民民族のおよび宗教的寛容の雰囲気、この国の現在の内部の安定性と静けさのために総合的発展の最も重要な前提条件となったことは疑いの余地がありません。名ばかりの国家の代表者に加えて、この国に住むすべての民族—レズギ人、タリシュ人、クルド人、タツ人、アヴァール人、ツァフル人、インギロイ人、少数民族の代表者—ウディン人、ブドゥグ人、キナラグ人、グリザ人、そしてロシア人、タタール人、ドイツ人などは祖先の伝統を自由に維持・強化し、国民

文化を発展させています。あらゆる国籍や宗教共同体に属するこの土地の息子たちが、アゼルバイジャンの自由と領土保全のための闘争に価値ある貢献をしたのは当然のことです。

イスラム東部の多くの地域で緊張と対立の原因となっているイスラム教のスニ派とシーア派の関係は、アゼルバイジャンでは団結と同胞愛によって特徴付けられているということは強調する価値があります。全国の多くのモスクでは、人々の団結と団結を求めて祈りが捧げられています。同じ統一の精神は、アゼルバイジャンで何世紀にもわたって実践されてきた他の宗教にも内在しています。同じ統一の精神は、アゼルバイジャンで何世紀にもわたって実践されてきた他の宗教にも内在しています。このように、コーカサスにおけるキリスト教の発祥の地であるコーカサス地方のアルバニアの相続人である小さなウディの人々は、今日、自分たちの宗教共同体に団結しながら、信仰の儀式を自由に行っています。同じことは、正教会だけでなく、19



タザ・ピル・モスク。19世紀、バクー



バクーのヘイダル大聖堂モスクでの統一祈禱



バクーのヘイダル大聖堂モスクでの統一祈禱



バクーのモスクを去るユダヤ教とキリスト教の聖職者の代表

世紀にアゼルバイジャンの地に伝わったキリスト教の宗教であるプロテスタントやカトリックの信奉者についても言えます。3番目の一神教であるユダヤ教もアゼルバイジャンで古くから信仰されてきました。何世紀にもわたってこの土地に住んでいた山岳地帯のユダヤ人は、後にグルジア系ユダヤ人、そして比較的最近になってアシュケナチスが加わり、アゼルバイジャンの民族告白のパレットを大幅に豊かにしました。反ユダヤ主義とイスラム嫌悪の波が世界各地で高まっている今日、アゼルバイジャンはそのような悪徳を知らない平和と寛容の数少ない島の一つであるようです。アゼルバイジャン国民の団結と幸福のためにシナゴークで捧げられる祈りは、アザーンと教会のチャイムの響きとともに調和のとれた全体を形成し、人々の間の団結と兄弟愛を讃える単一の賛美歌に融合します。1992年9月16日に署名されたアゼルバイジャン大統領令「少数民族、少数民族および民族

アルバニアの聖マリア教会、12世紀。アゼルバイジャン、ガバラ地区、ニジ村



バクーでのイースターのお祝い



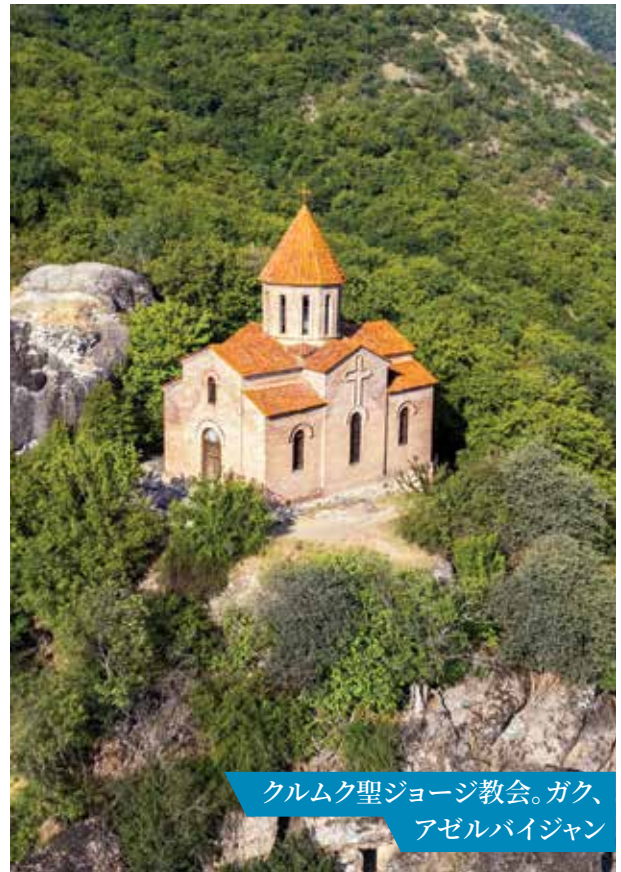
クラスナヤ・スロボダ村にある6つのドームを持つシナゴグ、19世紀。アゼルバイジャン、グバ地区





グループの権利と自由の保護、彼らの言語と文化の発展に対する国家援助について」が署名されたことは非常に重要である。これはソ連崩壊後の空間における最初のそのような文書となりました。この事実は、いわば、歴史的に確立された現実を公式レベルで象徴しており、その人文主義的な重要性と規模は明白かつ否定できないものであります。言い換えれば、アゼルバイジャンで発展し、ここに住む人々の血肉の一部となっている寛容の現実は、全世界にとって重要であり、興味深いものなのです。

これを考慮して、私たちは、アゼルバイジャンの写真家エティバル・ジャファロフのプロジェクト「アゼルバイジャンの色彩」に含まれている作品をIRS-Heritageの読者に紹介します。国のさまざまな場所で撮影されたマスターの写真は、この土地に息づく民族間および宗教間の友情と調和、平和的共存の雰囲気鮮やかに描き出しています。✦



クルムク聖ジョージ教会。ガク、アゼルバイジャン

一つのテーブルに集まるアゼルバイジャンのさまざまな宗教告白の代表者



アゼルバイジャン、ガダバイ地区ノヴォサラトフカ村在住





タタール民族舞踊、イスマイリ地区、アゼルバイジャン



アヴァール族の民族舞踊。
アゼルバイジャン、バラカン地区

バクーのシナゴグでの神聖な礼拝



聖ミルラを持つ女性の正教会大聖堂、1909年、バクー。

